

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成24年6月14日(2012.6.14)

【公表番号】特表2011-520965(P2011-520965A)

【公表日】平成23年7月21日(2011.7.21)

【年通号数】公開・登録公報2011-029

【出願番号】特願2011-510594(P2011-510594)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 45/06 (2006.01)

A 6 1 K 31/351 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 19/06 (2006.01)

C 0 7 D 309/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 45/06

A 6 1 K 31/351

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 19/06

A 6 1 P 43/00 1 2 3

C 0 7 D 309/10

【手続補正書】

【提出日】平成24年4月24日(2012.4.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

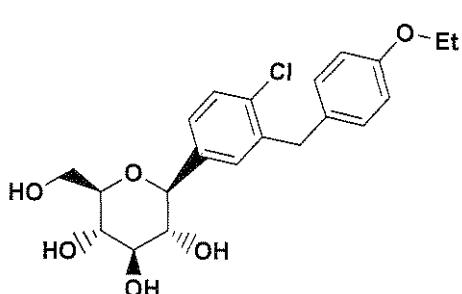
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

哺乳動物における高尿酸血症の治療において使用するためのナトリウムグルコース輸送体2(SGLT2)阻害剤であって、該SGLT2阻害剤が、

【化1】

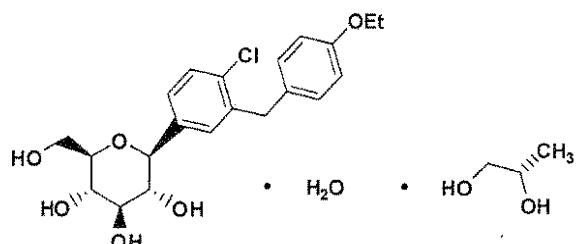


、またはそのプロドラッグエステル、またはそのプロピレングリコール溶媒和物である、SGLT2阻害剤。

【請求項2】

該SGLT2阻害剤が、

## 【化2】



化合物 Ia

である、請求項1に記載のSGLT2阻害剤。

## 【請求項3】

該SGLT2阻害剤が尿量を増加し、かつ、血清総尿酸値を低下させることを特徴とする、請求項1または2に記載のSGLT2阻害剤。

## 【請求項4】

哺乳動物がヒトである、請求項1～3いずれか1つに記載のSGLT2阻害剤。

## 【請求項5】

該ヒトが高尿酸血症の結果として痛風であり、かつ、高尿酸血症の治療が該ヒトの痛風の症状を防ぐことを特徴とする、請求項4に記載のSGLT2阻害剤。

## 【請求項6】

該SGLT2阻害剤が、炭水化物の供給体の投与前に、投与後に、または同時に投与されることを特徴とする、請求項1～5のいずれか1つに記載のSGLT2阻害剤。

## 【請求項7】

該SGLT2阻害剤が、尿酸合成阻害剤の投与前に、投与後に、または同時に投与されることを特徴とする、請求項1～5のいずれか1つに記載のSGLT2阻害剤。

## 【請求項8】

該尿酸合成阻害剤がキサンチンオキシダーゼ阻害剤である、請求項7に記載のSGLT2阻害剤。

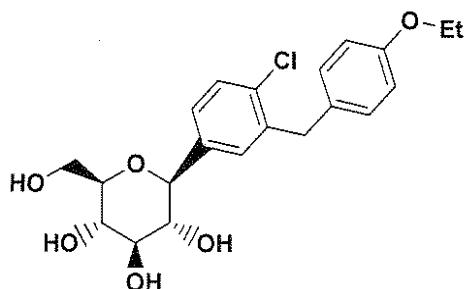
## 【請求項9】

該SGLT2阻害剤が低血糖症を誘導することなく高尿酸血症を治療するのに十分な量で投与されることを特徴とする、請求項1～8のいずれか1つに記載のSGLT2阻害剤。

## 【請求項10】

SGLT2阻害剤、および尿酸合成阻害剤または炭水化物の供給体を含む医薬組成物であって、該SGLT2阻害剤が

## 【化3】

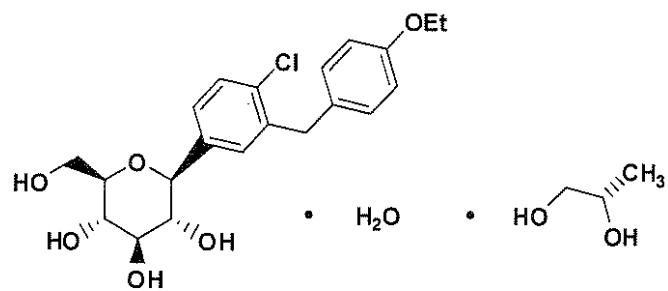


、またはそのプロドラッグエステル、またはそのプロピレングリコール溶媒和物である、医薬組成物。

## 【請求項11】

該SGLT2阻害剤が

【化4】



化合物 **Ia**

である、請求項 10 に記載の医薬組成物。

【請求項 12】

該尿酸合成阻害剤がキサンチンオキシダーゼ阻害剤である請求項 10 または 11 に記載の医薬組成物。